

1 本教材の狙い

東京都福祉人材センターでは、職員が中学校・高等学校からの依頼を受けて訪問し、福祉や福祉の仕事について分かりやすいセミナーを開催する「フクシを知ろう！なんでもセミナー」という事業を実施しています。

「福祉」というと、「特別な人のためのもの」、「自分には関係のないこと」という印象を持つことがあるかもしれませんが、しかし、実際には「福祉は身近にあるもの」であり、「様々なことが福祉に繋がっている」、「社会全体に必要」なことです。「なんでもセミナー」では、このことを生徒の皆さんに理解していただき、自分たちの周りにある「福祉」に興味を持っていただくこと、福祉の仕事やその魅力について伝えることを目的としています。

本教材は、これまで「なんでもセミナー」において使用した資料を基に、東京都福祉人材センター以外の方にもご活用いただけるように編集をしたものです。授業において本教材をご活用いただき、生徒の皆さんが身近な福祉について考える機会としていただければ幸いです。

2 本教材のポイント

本教材では、話し手から一方的に伝えるだけではなく、生徒の皆さんに主体的に考えてもらう過程を大切にしています。

そのため、本教材ではワークを想定したスライドが複数あります。個人でのワークだけでも十分にご活用いただけますが、隣席の生徒さんやグループ単位で話し合いをしていただくと、他の人の意見を聞くことで新たな気づきや発見につながると考えます。

また、可能でしたら、発展的なプログラムとして、視覚障害者疑似体験や車いす体験、高齢者疑似体験などの体験型の授業を実施いただくと、体感することによって、生徒の皆さんにも新しい発見があるのではないのでしょうか。

その際は学校の地元の区市町村社会福祉協議会等にご相談をいただけますと、資材の調達方法や、自分たちの住む地域の特徴や状況と結びつけた内容の授業の実施について、情報が得られるのではないかと思います。ぜひご検討ください。

【参考】

授業の流れ（例）		
冒頭～5分	<ul style="list-style-type: none"> ・導入 ・フクシという言葉の概念の共有 	スライド1～8
10分～15分	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるフクシに気づいてもらう。 ・ユニバーサルデザインなど、フクシの周辺概念の理解 	スライド9～14
5分～10分	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜフクシが必要なのか、生徒自身も当事者であることなどを伝え、よりフクシに対する興味関心を持ってもらう。 	スライド15～18
20分～25分	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢」「障害」「児童」の分野に分けて、フクシを必要とする人について、その人が困っていたら、どのように接するか等を考えることで、日常生活の中にあるフクシについて気づき・考え・行動できるように働きかける。 	スライド19～35 <ul style="list-style-type: none"> ・表紙：スライド19 ・高齢：スライド20～24 ・障害：スライド25～31 ・児童：スライド32～35
10分～15分	<ul style="list-style-type: none"> ・フクシの仕事に関する話をもとに、今後の進路について考える際の参考にしてもらう。 	スライド36～46
合計 50分		

※授業のねらいや時間の関係で、スライドを取捨選択してご利用いただくことも可能です。